

第10回合志市地域公共交通協議会

[日 時] 平成22年2月16日(火曜日) 午前9時30分

[場 所] 合志市役所西合志庁舎 3階大会議室

[出席者] 別紙のとおり

1. 開会

[事務局]

それでは定刻になりましたので、ただいまから始めたいと思います。企画財政課長の濱田でございます。よろしくお願いいたします。先ず、会議を始めます前に、合志市では挨拶から始めておりますので、よろしくお願いいたします。

(起立) おはようございます。

ありがとうございます。本日会議は、まだお見えになっていない委員の方もおられますが、银杏交通タクシーの野田様、柗相互交通の園田様、合志市企業等連絡協議会の守田様から欠席のご連絡をいただいております。それでは、さっそく第10回合志市地域公共交通協議会を開会したいと思います。先ず、中園会長が挨拶を申し上げます。

[中園会長]

本日は早朝よりご出席いただきまして、ありがとうございます。前回の協議会は、8月に開催しておりますので、半年ぶりの開催になります。実は、この間、昨年10月になりますけれども、老人クラブ連合会から委員としてご参加いただいております宮崎様がお病気のためにお亡くなりになりました。この協議会でも貴重なご意見をいただいております。心からご冥福をお祈りしたいと思います。本日は会長代行ということで、丸山様にご出席いただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議では、本年度実施しました様々な実証実験などの結果報告をいただきまして、事務局の一応の評価を踏まえて、委員の皆様からご意見をいただきたいと思っております。

その後で平成22年度の事業計画をご協議いただきますが、3月に市長選挙があります関係で、22年度の当初予算は骨格予算となっております。骨格とは、4月からどうしても必要な予算だけを、まず組むことということですが、首長が政策的に判断するような、このような公共交通に関する予算などは、6月の補正予算で計上することとなります。そのようなことから、本日平成22年度の計画についてご協議していただきますが、大まかな方針にとどまるかと思っておりますけれども、どうぞよろしくお願いいたします。ただ、幸いといえますか、これまで市長選挙に立候補を表明されているお二人におかれましては、この公共交通の整備に関しては積極的な方針を示されておりますので、私たちが2年間取り組んできましたことが滞るようなことはないと思っております。本日は、計画につきましても前向きな、発展的なかたちでご協議いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

[事務局]

ありがとうございました。それでは、議題に入ります前に、資料の確認をいたします。

(資料確認) 次第、席次表、出席者名簿、会議資料①～④、統合時刻表

それでは、さっそく議題に入ります。議題の進行を会長にお願いいたします。

[中園会長]

それでは、議題(1)平成21年度実証実験等の事業報告及び事後評価について、事務局より説明をお願いいたします。

[事務局]

それでは、平成21年度の総括ということで、これまで取り組んでまいりました、環状バス、温泉直行バス、乗り合いタクシー、パーク&ライド、その他利用促進の取り組み、関連して循環バスの事業報告について、資料に沿ってご説明をいたします。事業ごとに説明をいたしまして、その都度ご質問などを受けながら進めたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

※説明・・・資料①1ページ、②

[中園会長]

環状バスについて説明がありましたが、何かご質問などはありませんか。何かあれば後でも結構ですので、続いて温泉直行バスについて説明をお願いします。

[事務局]

続いて温泉直行バスの運行結果について、ご説明いたします。

※説明・・・資料①8ページ

[中園会長]

温泉直行バスは、循環バスのコースをショートカットして運行したものですので、循環バスの比較と併せて説明がありました。何かご質問はありませんでしょうか。

[松永委員]

直行バス、循環バスについては、当初から危惧していたのは、乗降場所の停留所についてです。このバス停については、地域によっては利用者に不便な場所に設置してある場合があります。運行のコース設定上、仕方なくその場所に設置したという説明も以前聞いています。しかし、そのことで利用促進が促せなかったという結果も出ていると思います。地域によって利用が多い地域、極端に利用が少ない地域もありますので、これから利用者の利用しやすい、また交通の妨げにならないような場所を設定して、再検討をしていただきたいと思います。乗り合いタクシーに関しても同じです。地域の懇談会などで積極的に利用者の意見を聞く機会を設けてほしいと思います。

[事務局]

ご意見のとおりでございますので、これから次年度以降の運行計画に改善を図る上では、利用者のご意見を十分に取り入れて、運行計画を立ててまいります。

[中園会長]

他にご意見がなければ、乗り合いタクシーの結果報告をお願いいたします。

[事務局]

続きまして、乗り合いタクシーの実験結果について報告いたします。

※説明・・・資料①16 ページ、③

[中園会長]

乗り合いタクシーについては、バス路線が廃止された地域にコース設定をしてありました。何かご意見がありましたらお願いします。

[松永委員]

乗り合いタクシーについては、農村部では利用したいという人が多いと思います。しかし、実際の利用者から聞いた意見として、乗り降りの場所に不便なところがあるようです。良い制度ですので、利用者の意見をもっと取り入れて、利用しやすいように改善を図っていただきたいと思います。

[事務局]

乗り合いタクシーに関しましても、バスと同じく乗降場所や運行コースの設定に改善を図って、さらに利用しやすいように取り組んでまいります。

[吉永委員]

今までの中で、事業報告を聞いておりますが、評価の部分をどのように捉えていけばよろしいでしょうか。報告を聞いてから評価や今後の取り組みについて意見を述べるのか、如何でしょうか。

[中園会長]

評価については、別の資料により後で説明をするところでした。

[事務局]

改善点も含めて事業報告を進めております。評価と次年度の取り組みは後ほど説明しますので、事業報告を先に進めさせていただきます。

[中園会長]

それでは、実績報告から進めます。続いてパーク&ライドについて説明をお願いします。

[事務局]

続いて、パーク&ライドの事業報告をいたします。

※説明・・・資料①21 ページ

[中園会長]

今の説明でご質問はないでしょうか。なければ、循環バスについて説明をお願いします。

[事務局]

続きまして、循環バスについて説明をいたします。これは、新しく始めた事業ではありませんが、温泉直行バスとの比較もありますので報告をいたします。

※説明・・・資料①28 ページ

[中園会長]

ご質問がありましたら、お願いします。それでは、議題（2）に入りますが、事業評価と

平成 22 年度事業方針についてご協議いただきたいと思います。バスと乗り合いタクシー、パーク&ライドに絞って説明をお願いします。はじめに、環状バス、温泉直行バス、循環バスについてお願いします。

[事務局]

バス関連の事業について説明をいたします。

※説明・・・資料①A3 横、④

[中園会長]

利用者の評価と、次年度取り組み方針まで説明がありましたが、ご意見はありますでしょうか。

[吉永委員]

バスの総括ですが、環状バスと循環バスは性質が違うのもあるので、目的が違うような運行が必要だと思います。環状バスは、900 万近い費用がかかっていますので、運行の時間帯を見直すなどで効率性は図れると思いますが、運行を続ける上では、これだけの費用がかかりますので、市としてもどれぐらいの費用であれば運行が続けられるかも数字を捉えておく必要があります。循環バスについては、交通弱者のための運行ということで、ある程度の経費負担は必要と考えるなど、2つのバスがそれぞれ目的を持ったものであるべきだと思います。

[事務局]

環状バスについては、運行の見直しの中で効率性は図りますが、効率性を求めてサービスが低下すると利用者のニーズに合わない運行に成りかねませんので、運行経費は必要最小限度で尚且つ運行サービスは維持したいと考えています。場合によっては、沿線の企業などから協賛金をいただくような努力も必要かと思っています。環状バスと循環バスは、コミュニティバスとして名前は統一しますが、運行上はこれまでの運行形態に改善を図りながら取り組んでいきたいと考えています。改善を図る上では、先程もありましたように、地域の意見を聞きながら、バス停の位置なども細かく設定していきたいと考えています。

[吉永委員]

方針はわかりました。費用に関しても、運行単価に見合うような運行計画等に改善することや、環境に配慮した事業方針として取り組むなど、目的を明確にした事業方針についても工夫が必要です。工夫をすれば、もっと乗れる人が増えるはずですので、利用者が運賃を払ってもよいと思われるような運行計画にするようにしていただきたいと思います。

[中園会長]

ありがとうございます。総合しますと、温泉直行バスという運行はしないということですか。環状バスの評価が高かったのも、環状バスの運行と併せて循環バスの運行も再編していくということですか。再編するなかでは、運行コースやバス停の位置、運行時間、運賃などについて、利用者の意見を聞きながら、十分に検討するというということです。3 年間の実験後は、市の単独事業ですので、運行費用も含めて検討を進めるということですか。

[松永委員]

これから、バス事業の再編を進める上では、地域の懇談会などで利用者の意見を聞く機会があったほうがよいと思いますが、そのような予定はありますか。

[事務局]

この平成 21 年度の事業評価を終わって、次年度事業に向けて早い段階から各区の区長さんに相談をしながら、取り組んでいきます。

[中園会長]

今回は、乗った人の意見はありますが、乗れなかった人の意見も調査して事業に反映していただきたいと思います。

他にご意見がなければ、続いて乗り合いタクシーの評価と次年度方針について、説明をお願いします。

[事務局]

それでは、乗り合いタクシーに関して説明をいたします。

※乗り合いタクシーの評価と平成 22 年度方針について説明（資料①A3 横、④）

[中園会長]

乗り合いタクシーについては、合志市では初めて取り組みましたけれども、タクシー事業者さんから気づかれた点などをお聞かせいただければと思います。

[小森田委員]

当日に予約があり「今から乗りたい」ということが何度かありました。その点は課題だと思います。

[中園会長]

事業者さんとしては、当日予約も対応できますか。

[小森田委員]

予約があったときに車両があれば対応できますが、車両がない場合は難しいと思います。お年寄りが多いので、そのへんをうまく改善できればよいと思います。

[松永委員]

運行上は、運転手の中にも慣れていない人や慣れていない人がいると思いますが、その点はどうでしょう。

[小森田委員]

当社の場合は、なるべく乗り合いタクシー専属の運転手になるようにしていました。

[溝上副会長]

資料①の 16 ページで、路線別に効率性がわかるような分析はできませんか。

[事務局]

距離や運賃、乗車人数などで効率性は分析ができますので、検討してみます。

[溝上副会長]

乗り合いタクシーの実験運行で、通常業務への影響はありませんでしたか。あるいは、新

たな需要の掘り起しができたなどはありませんか。

[小森田委員]

通常業務への影響は特にありませんでした。ただ、主な利用者がお年寄りですので、実験期間が短かったため、利用に対して浸透ができていなかったのもあると思います。これからも長く取り組むことで利用者は増えると思います。新たな需要が掘り起こされたという印象はありませんが、これによってタクシー自体の利用者が増えるとますます良いと思います。

[中園会長]

乗り合いタクシーについては、運行を改善して取り組んでいくということです。よろしいでしょうか。続いてパーク&ライドについて、評価と次年度方針の説明をお願いします。

[事務局]

パーク&ライドの事業報告と次年度方針について説明をいたします。

※説明・・・資料①32 ページ、A3 横、④

[中園会長]

新須屋駅のパーク&ライドについては、6月に協議いただいたときは、利用も多いのではないかと予測しておりましたが、なかなか利用者が伸びませんでした。今説明がありましたように、いろいろな方策に取り組んでおりますが、利用者が伸びていない状況です。何かご意見はありませんでしょうか。

[溝上副会長]

資料①24 ページで、利用者アンケートで、利用者の住所は把握できているのでしょうか。どのようなところから利用があるのかは必要だと思います。

[事務局]

個人情報関係で記載しておりませんが、把握はしております。利用者は、菊池市から1人、熊本市から1人、あとは合志市からといった状況です。遠方では菊池市です。

[溝上副会長]

合志市や泗水が多いのかと思っておりましたが、案外近隣の方が多い状況ですね。

[事務局]

利用者の6人うち3人は、これまでも近隣から公共交通を利用していましたが、電鉄の駅まで家族に送ってもらったり、徒歩でバス停まで行って利用していましたが、ここに駐車場ができたので自分でここまで来るようになったということです。

[溝上副会長]

土日祝祭日の場合はどうでしょうか。

[事務局]

やはり近隣の方が多い状況でしたが、毎週土日のたびに利用するというものではありませんでした。

[中園会長]

これについては、特に市の持ち出しはありませんが、熊本電鉄の利用促進や渋滞緩和になりますので、引き続き取り組んでいきたいと思えます。

続いて、利用促進について事務局から説明をお願いします。

[事務局]

先に利用促進の取り組み実績から説明します。

※ 説明・・・資料①31 ページ

続いて、次年度の取り組み方針について説明します。

※説明・・・資料④

[中園会長]

バスの購入などの計画はありませんか。

[事務局]

まだ予算が不確定ですが、新年度で小型のコミュニティバスを購入したいと考えております。台数や車種は決まっておりますが、コミュニティバスの充実を図りたい考えです。

[松永委員]

31 ページの運行前の説明会は、東弘生とは。また、一部の地域のみ説明であったのか。それから、コミュニティバスの購入に関して、購入の目的は何でしょうか。

[事務局]

東弘生は東、弘生の間違いです。運行前の説明会については、対象路線すべてに対して説明しておりますので、ここでは記載が不足しています。コミュニティバスについては、循環バスの車両が 2 台ありますが、小型バスが不足していますので、購入したバスをバス事業者がコミュニティバスとして運行していただくために購入するものです。所有者は市ですが、使用者はバス事業者となります。

[松永委員]

バス事業の実験後、本格運行しない場合は購入したバスはどうなるのでしょうか。

[事務局]

コミュニティバスについては、国から支援いただいた実験運行後も、引き続き市で取り組んでいくところです。

[中園会長]

他になれば、冒頭のあいさつの中で申し上げましたように、具体的な事業は 6 月予算前になります。続いて、次第の（3）その他についてお願いします。

[事務局]

次回の協議会は、4月下旬から5月中旬までの間に開催を予定しています。委員の皆さまの中には、4月に異動等で、委員の交代があるかと思えます。次回の開催通知に併せて、委員の交代などがある場合は、お知らせいただきたいと思えます。

[溝上副会長]

最後に、統合時刻表のチラシについて、反響はどうでしたか。

[事務局]

今回、初めて作成して配布しましたが、便利だというご意見をいただいております。

[溝上副会長]

このチラシで、乗る回数を増やしたということはありませんでしたか。

[事務局]

便利だという意見はありますが、具体的に利用が増えたということがあったかどうかは把握していません。

[中園会長]

以上で議題を終わります。事務局にお返しします。

[事務局]

長時間にわたりご協議いただき、ありがとうございました。これをもちまして、第10回地域公共交通協議会を終了いたします。

閉会（11：30）